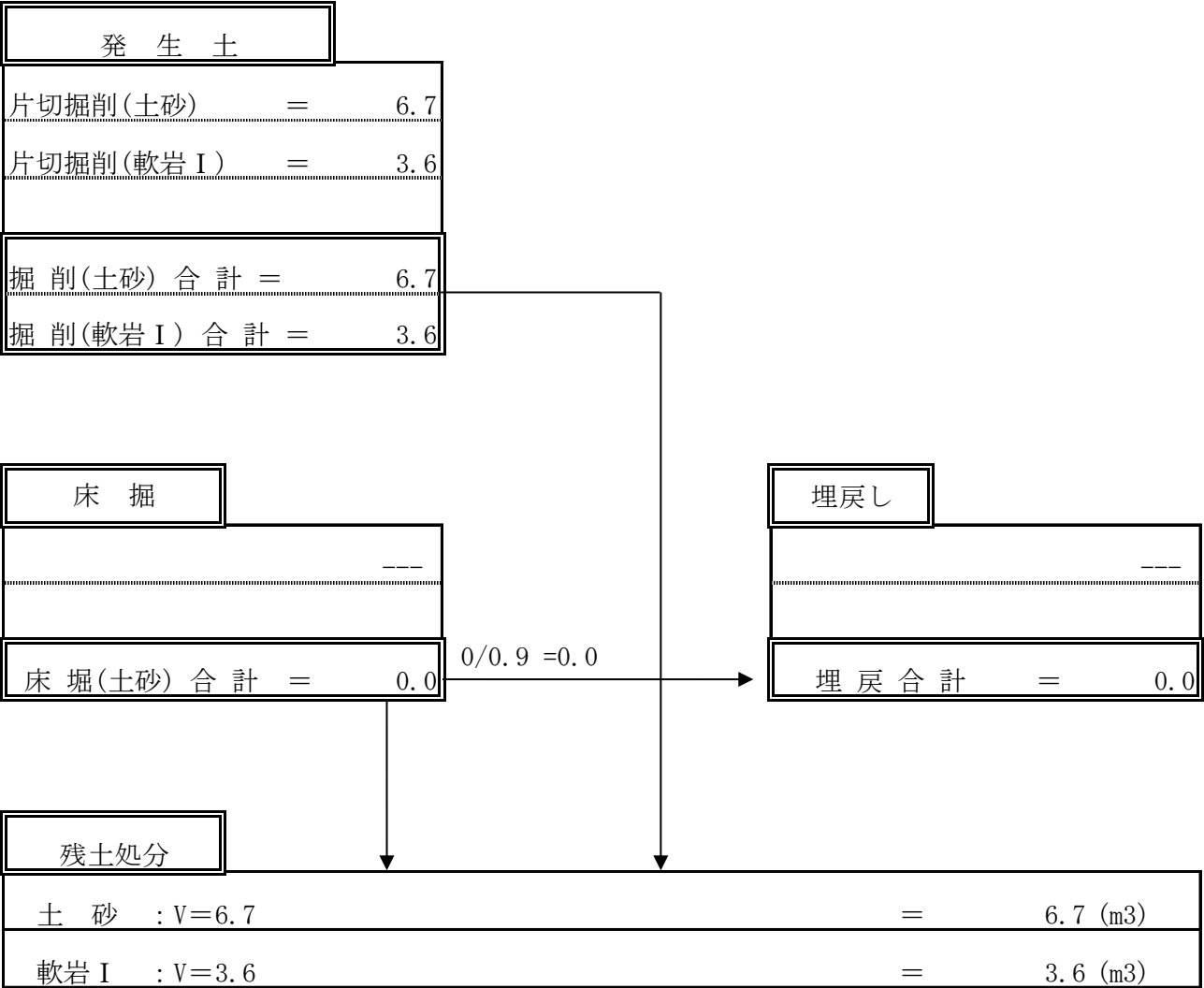


市道十日市267号線				数量総括表			
工 種	種 別	細 別	規 格	単位	計算過程数値	設計計上数値	摘 要
土 工				式	1.0	1.0	
	掘削工	片切掘削	土砂 (H≤7.0m)	m3	6.7	7	
		片切掘削	軟岩 I (H≤7.0m)	m3	3.6	4	
	残土処分工	残土処分	土 砂	m3	6.7	7	
			軟岩 I	m3	3.6	4	
	法面整形	切土法面整形	機械・土砂	m2	14.7	10	
			機械・軟岩 I	m2	35.5	40	
法面工				式	1.0	1.0	
	法面工	モルタル吹付工	t=8cm枠内	m2	31.6	32	
	吹付枠工	吹付枠工	□300×300- 2000×2000	m	62.7	63	
		ラス張り	φ2 (#14) × 50×50	m2	51.2	51	
		天端コンクリート	18N/mm2	m3	0.4	0.4	
		水切コンクリート	18N/mm2	m3	0.1	0.1	
		下端コンクリート	18N/mm2	m3	0.2	0.2	
	鉄筋挿入工	鉄筋挿入	SD345 D22 L=2.50m	本	12	12	施工条件 I
		削孔工	φ65 土砂・軟岩 1	m	25.2	25	
		グラウト注入工	鉄筋挿入部 24N/mm2	m3	0.1	0.1	
		頭部処理工	鉄筋挿入部	箇所	12.0	12	
構造物撤去工				式	1.0	1.0	
	構造物取壊工	モルタル吹付	t=8cm、機械	m2	13.1	13	
	殻運搬	コンクリート殻	無筋構造物	m3	1.0	1	
	殻処分			t	2.4	2	1.0× 2.35=2.4t
仮設工				式	1.0	1.0	
	工事用道路	敷鉄板 (t=22)	幅員 (W=3.0m)	m	205.0	205	
			敷鉄板 (t=22)	枚	133.0	133	
			敷鉄板供用日数	日	8.0	8	
		ポリエチレン管	φ300	m	3.0	3	
		大型土のう		袋	6.0	6	

土工 数量集計表

[illegible]

土 量 配 分 表



法面工 数量集計表

[illegible]

法面工

1) ラス張工

ヘロンの公式による

$$S = (L1 + L2 + L3) / 2 \quad \text{面積} : a = \sqrt{S(S-L1)(S-L2)(S-L3)}$$

吹付枠工部

ブロック	No	L1	L2	L3	S	面積:a
1	①	5.7	3.5	7.0	8.10	9.9
	②	7.0	3.5	6.1	8.30	10.7
	③	6.1	4.9	8.0	9.50	14.9
	④	8.0	4.9	6.4	9.65	15.7
	小計					51.2
合計		ラス張工＝				51.2

枠内モルタル吹付 t=8cm枠内

枠内工面積：A＝ 法面面積－(0.30×枠長)－(水切コン面積)

水切コンクリート面積＝ 0.30×法勾配×(最下段横枠長－0.30×縦枠数)

水切コンクリート平均法勾配＝(0.51+0.34+0.41)/3＝ 0.42
→1:0.42

項 目	単位				合 計
法面面積：a	m ²	51.2			51.2
枠 長：L	m	62.7			62.7
平均法勾配：N	－	0.50			
最上段横枠長：L1	m	0.0			0.0
最下段横枠長：L2	m	8.4			8.4
縦 枠 数：n	本	6			6.0
水切Co面積	m ²	0.83			0.8
枠内工面積	m ²	31.6			31.6

吹付砕工・集計表

細 別	規 格	単位	吹付法砕		合 計
施工面積		m2	51.2		51.2
砕材	□300×300－D13	m	62.7		62.7
ラス張り	φ2（＃14）×50×50	m2	51.2		51.2
天端コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.39		0.4
水切コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.12		0.1
下端コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.16		0.2

吹付砕工

1) 施工面積

展開図（ラス張工）による

項 目	単位	1 : 0.5			合計
法面面積	m ²	51.2			51.2

2) 枠材（□300×300） ※次項・枠長計算書による

項 目	単位	1 : 0.5			合計
枠 長	m	62.7			62.7

3) ラス張り（φ2（＃14）×50×50） 51.2（m²）

4) 天端コンクリート（σ_{ck}=18N/mm²）

$$V = (0.043 + 0.038) / 2 \times 3.5 + (0.038 + 0.064) / 2 \times 4.9 = 0.392$$

5) 水切コンクリート（σ_{ck}=18N/mm²）

$$\text{平均法勾配} = (0.51 + 0.34 + 0.41) / 3 = 0.42 \rightarrow 1 : 0.42$$

$$V = 1/2 \times 0.30 \times (0.30 \times N) \times (\text{最下段横枠長} - 0.30 \times \text{縦枠数})$$

項 目	単位				合計
最下段横枠長：L	m	8.4			8.4
縦 枠 数：n	本	6			6
平均法勾配：N	-	1 : 0.42			
水切コンクリート	m ³	0.12			0.12

6) 下端コンクリート（σ_{ck}=18N/mm²）

$$\text{平均法勾配} = (0.51 + 0.34 + 0.41) / 3 = 0.42 \rightarrow 1 : 0.42$$

$$V = 1/2 \times \text{高さ} \times \text{底辺} \times L \text{ (m³)}$$

項 目	単位		下端Coの断面値		合計
最下段横枠長：L	m	8.4	高さ	底辺	8.4
平均法勾配：N	-	1 : 0.42	0.300	0.126	
下端コンクリート	m ³	0.16			0.16

吹付枠工

ブロック (1:0.34~1:0.86)

	縦枠	横枠	斜枠
1	5.7	8.4	
2	5.8	8.4	
3	6.0	8.4	
4	6.1	8.4	
5	6.3		
6	6.4		
7			
8			
9			
10			
合計	36.3	33.6	0.0
枠 延 長			69.9
交 点 数			24
実 枠 延 長			62.7
水切Co計算用縦枠数			6
目地材 設置数			0

: 下端枠

吹付枠工の集計

項 目	吹付枠工	備考
縦枠合計	36.3	
横枠合計	33.6	
斜枠合計	0.0	
桁延長合計	69.9	
交点数合計	24	
実枠延長合計	62.7	
目地設置数	0	

天端・水切・下端コンクリート計算データ

吹付枠工

	天端枠	下端枠	合計	水切Co用縦枠本数
	0.0	8.4	8.4	6
合計	0.0	8.4	8.4	6

鉄筋挿入工 (SD345) 数量計算書

1) 鉄筋挿入工 (SD345) ※鉄筋挿入工展開図より

構造	土質	ブロック					合計(本)
D22 L=2.50m 削孔長=2.1m	土砂	12					12
	軟岩 I						
	合計	12					12

2) 削孔工 (φ 65mm)

構造	土質	ブロック					合計
配置本数	---	12					12
1本当り削孔長 (m/本)	土砂	2.1					2.1
	軟岩 I						
削孔長 (m)	土砂	25.2					25.2
	軟岩 I						
	合計	25.2					25.2

3) グラウト注入工 (σ ck=24N/mm2)

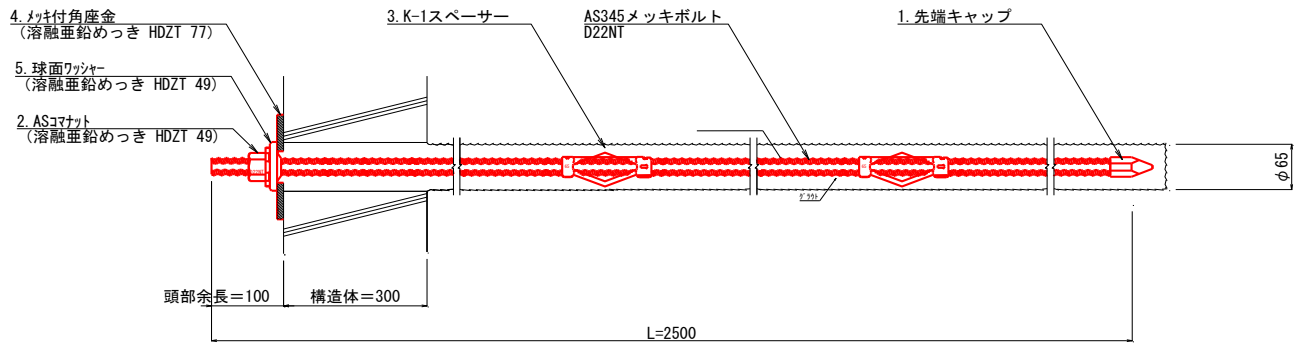
グラウト量：V= 1/4×π×φ^2×(削孔長)×1.4

構造	土質	ブロック					合計
削孔長：L	m	25.2					---
削孔径：φ	mm	65					---
グラウト量：V	m3	0.117					0.12

4) 頭部処理工

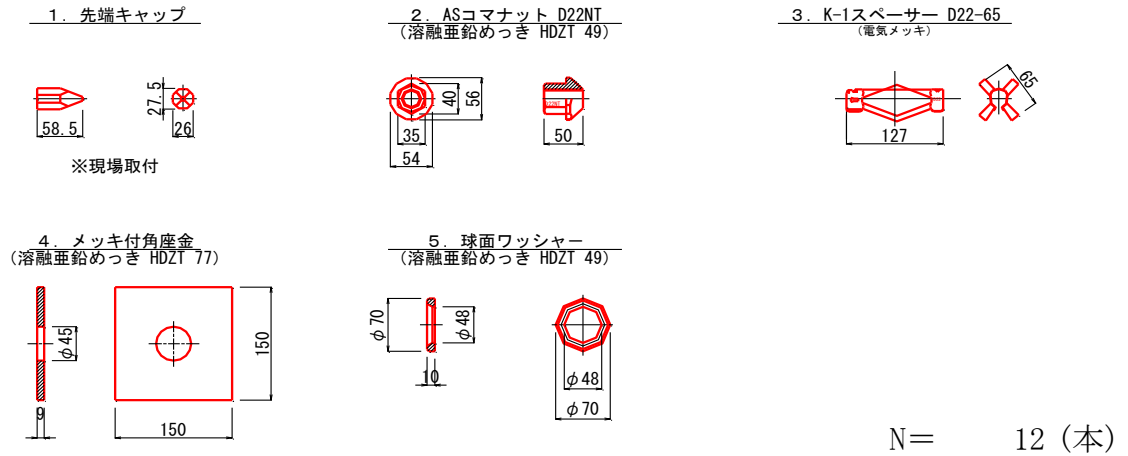
鉄筋挿入部：N= 12 = 12 箇所
合 計= 12 箇所

鉄筋挿入工 1本当たり数量計算書



部 品 図 (参考図)

D22用



名称	規格	計 算 式	単位	単位数量	本数	全体数量
メッキボルト	SD345 D22		m	2.5	12	30
先端キャップ			個	1	12	12
ASコマナット	D22用		個	1	12	12
K-1スペーサー	D22用		個	2	12	24
メッキ付 角座金			枚	1	12	12
球面 ワッシャー			個	1	12	12

構造物撤去工 数量集計表

[illegible]

仮設工 数量 計算書

[illegible]